



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

市販茶に不活性効果 世界初 県立医大が実験結果 新型コロナウイルス
大学 (奈良新聞社 2020.11.30 配信)

県立医科大学は27日、市販の茶に新型コロナウイルスの感染力を低下させる不活性効果があるとの実験結果を発表した。茶による不活性化の確認は世界初だが明確な要因は分かっておらず、実験を行った矢野寿一教授(微生物感染症学)は「今回は試験管内で得られた可能性を示した」と話している。

同大によれば、実験では試験管内でウイルスの入った液体と市販の茶を混ぜ、経過時間ごとに感染力のあるウイルスの残存量を測定。約10銘柄で行われた。

最も効果が見られたのは茶葉から入れた紅茶。1分後に100分の1以下、10分後に1000分の1以下までウイルスの量が減った。またペットボトルの緑茶2銘柄では効果の有無に差があった。このほか茶葉から入れた県特産品の大和茶では、10分後に100分の1以下に減ったという。

ただしウイルス量が減った理由は不明のまま。茶にはインフルエンザウイルスを不活性化させる効果が確認され、茶に含まれるカテキンがウイルスに結合することで体内の細胞への侵入を防ぐとされる。新型コロナでも同様のことが可能性として考えられるが、効果のあった銘柄でのカテキンの有無は確認できていないという。

同大は今後、会食時の感染症対策への活用を念頭に、要因の検証や飲料メーカーなどとの協議を予定。同大MBT研究所の細井裕司所長は「ファクターは分からないが、会食時の有効な感染症対策がないのが現状。効くお茶があることをお知らせしたかった」と話した。

2割負担年収200万円 75歳医療費、大筋合意 折衷案で370万人 首相、公明代表
行政・政治 (共同通信社 2020.12.10 配信)

75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割へ引き上げる制度改革について、菅義偉首相と公明党の山口那津男代表は9日、東京都内で会談し、線引きとなる所得基準を年金収入のモデルで年間200万円以上とすることで大筋合意した。約370万人が対象となる。複数の関係者が明らかにした。支払い能力のある高齢者には負担を求める。政府は制度改革を盛り込んだ最終報告を全世代型社会保障検討会議でまとめ、閣議決定する方針。

高齢者の医療制度を支える現役世代の負担軽減を重視する菅首相は対象人数が約520万人になる170万円以上の案を主張。公明党は240万円以上の案を掲げて強く反対してきたが、互いに歩み寄った形だ。合意案では現役世代の負担は年880億円抑制されるが、170万円以上の案だと1220億円の効果があった。厚生労働省は、来年の通常国会に関連法改正案を提出する見通し。

地域ルピナス講習会のお知らせ

延期中

第69回東大阪地域リハビリ勉強会
⇒理学療法アプローチとリスク管理について
～パーキンソン病症例を通して～

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 井上直大

第28回城東地域リハビリ勉強会
⇒認知症予防に向けた運動

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 第3小会議室
講師：ルピナス理学療法士 武田勇二

第39回忠岡地域リハビリ勉強会
⇒知っておきたい救急処置の基礎知識
～高齢者の心疾患～

開催日：日程検討中
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 地下会議室
講師：ルピナス理学療法士 松浦新吾

